

論理的思考力

昨日の昼の放送で、広報委員会で取り組んでいる「よさみつけ」の三年生のコメントが流れました。「部活動の時に、二年生が率先して行動していたから、よい姿だと思いました。」

このコメントを耳にした私は、「そろそろこういうコメントを卒業させなければならぬ」と思いました。内容がいけないのではありません。むしろ、三年生が二年生のよさを見逃さなかったという点では素敵なコメントです。

それでは、何が問題なのでしょう。実は、このコメントは論理的ではないという点が問題です。「二年生が率先して行動していたこと」と「よい姿であったこと」の二つが結び付いていますが、率先して動いていたことが、どうしてよい姿なのか、全く説明されていません。「率先して行動すること『よいこと』と話し手も聞き手も勝手にそのように思い込んでいるだけで、理由が説明されていません。理由がないのに納得してしまっているのです。」

「論理」とは「理(由)」を「論ずる」ことです。理由を説明することで論理的になります。理由は一つではないですよ。どんな理由であれ、入れて説明することが大切です。

「部活動の時に二年生が率先して行動していました。三年生引退後には自分たちがやらなければならぬという意識がすでにその行動に表れていました。とてもよい姿だと思いました。」

「部活動の時に二年生が率先して行動していました。先輩風を吹かすことなく、自分たちが手本を示すことによって後輩たちに無言の指導をしていました。とてもよい姿だと思いました。」

下の図は「三角ロジック」と言います。「ロジック」とは「論理」という意味です。青い矢印は「非論理的」、赤の矢印が「論理的」です。中学生ならそろそろ赤い矢印で語ることができるようになってほしいものです。

授業を見ても、発言が論理的でない場面が結構あります。

「この段落にはグラフが入っているからわかりやすい」というところを、「この段落の説明にはグラフが入っています。数字もいくつか入っていますが、差がイメージできません。年による数字の推移や、他国との比較は視覚に訴えてイメージできます。その結果わかりやすくなっています」といったほうが、グラフが入っている意義まで伝わりやすい。論理的思考力、難しそうですが、日常において十分鍛えることができますよ。

【事実】 率先して行動していた二年生

【理由】 3年生引退後は自分たちが!

【結論】 よい姿

(六月十五日 記)